



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員
は会費に含まれる

発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師
上ル七観音町637
インタープレイス烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世



主な内容
主張・様相を変えてきた医事紛争の傾向 (2面)
地区との懇談(相楽) (2面)
税務調査などで国税局交渉 (3面)

ご用命はアミスまで
◆医師賠償責任保険
◆休業補償制度
(所得補償、傷害疾病保険)
◆針刺し事故等
補償プラン
◆自動車保険・火災保険
☎075-212-0303

理事長 長話 府地域包括ケア構想策定を受けて

介護保険法等改正法案が今国会で成立する見通しである。現役並み所得の人の利用料を3割負担に上げるなど、利用者負担を拡大する方向での改変が目立つ。2016年度の「老人福祉・介護事業」の倒産は、108件で前年度を大きく上回り、2000年の調査開始以来、最多の件数になったという。背景には、介護現場の慢性的な人手不足があり、介護職の賃金体系が余りにも低いという問題がある。超高齢社会を突き進んでいる日本で、介護の需要は増える一方のほすなのだが、それを見越して新しい施設を作っても、働いてくれる職員が思うように集まらないので無理をして給与を上げ、運転資金不足に陥って倒産にいたるケースが多いという。原因は財源不足である。国庫負担が低すぎるのだ。

地域の声に耳傾け真摯な対応を

理事長 垣田 さち子

介護保険制度の持続可能性をいふのであれば、現場で起きている実態をよく見て、解決の方策を考えねばならない。形ばかりの制度が残っても、国民の求める介護の役に立たないので意味がない。高齢期求められるのは、高齢期だけ低い負担でサービスを受けられるようにすべきであると考えられる。このほど、京都府が「京都府地域包括ケア構想」をとりまとめた。この中で将

来の医療需要と提供体制として、在宅医療等の必要量の国推計が出されている。16年度が2万1784人/日に対し、25年度は3万9979人/日とされており、1.8倍だ。膨らむ在宅需要を、地域がどう受け止めるのか。その選択肢の一つとして11年から登場したサービス付高齢者住宅(サ高住)も、NHK調査によれば11年からこれまで、全国で260件の廃業および登録取り消しの手続きが行われたことが、3月に報道された。国はサ高住推進の姿勢を崩してはいないが、安易に事業に参入した結果、経営不振に陥り廃業に至るようでは、高齢者の終の棲家としてはリスクが高すぎる。今回の介護保険法等改正法案では、介護療養病床廃止後の新類型として「介護医療院」なるものが提示された。国は要介護者に対し「長期療養のための医療」と「日常生活上の世話介護」を一体的に提供する施設として提供しているが、医療・介護の保障がどのようになされていくのか、注視が必要である。国は医療と介護の連携を

強調している。もちろん、それは必要なことだ。高齢になればなるほど、心身に不調をきたすのは当たり前のことだ。思うように動けない、頭の働きも落ちてきた。歳を取って死に向かう年代が、少しでも気分よく痛みもなく老いの日々を過ごせるように近代医学の恩恵を受けたいし、現代にふさわしい快適な衣・食・住環境を求めたい。行き届いた介護のある生活保障と医療は不可分である。豊かな介護の手がないと、医療も本来の力が発揮できない。しかし、国が進める医療・介護の連携体制は、財源も保障も人材も不十分なまま、地域に押し付けるだけのものである。これではすぐに限界がくる。これから増え続ける高齢者世代がしあわせに過ごす姿を次の世代に示せてこそ、この国の未来が明るくなるのである。そのための施策は、高齢者のためだけにではなく、次世代の若者のためでもある。そして、その未来を実現させるためにも地域医療を第一線で担う医師の声は必要不可欠だ。協会は今後の地域医療について各地域の医師の声を集め、本紙にて紹介するとともに、要望等としてとりまとめ、自治体に届けていく所存である。2017年4月25日

協会役員選

理事長に垣田氏再選



茨木 和博氏



垣田 さち子氏

京都府保険医協会は、理事長・副理事長・監事の選挙公示を3月25日(本紙第2995号)に行い、立

理事長	
垣田さち子(西)	再陣
副理事長	
内田 亮彦(下京東部)	再
鈴木 卓(中京西部)	再
渡邊 賢治(西)	再陣
茨木 和博(綴)	新喜
林 一資(西)	再京
監事	
増田 道彦(宇治久世)	再
名倉 良一(西)	再京
(届出順、敬称略)	

新代議員の方々へ

議長・副議長選挙の公示

京都府保険医協会代議員会の議長、副議長の任期(2年)が、2017年4月30日をもって終了します。任期終了にあたり新代議員から議長、副議長を選出致します。規約第19条および選出内規により、次の要領で行います。
公示 2017年4月25日(火)(京都保険医新聞第2998号)
立候補締切日時 2017年4月28日(金)午後4時

初夏特集号への会員の投稿募集

会員からの投稿を募集しています。随筆(800字程度)、写真、絵、短歌、詩など、なんでも結構です。多くの先生方の投稿をお待ちしております。締切は6月29日(木)。

選挙する役職名 代議員 選挙する役職名 代議員 議長 1人、副議長 1人 任期 2力年: 2017年5月1日、19年4月30日
選挙日程・場所 2017年5月18日(木)午後2時15分から、京都税理士会館にて、第193回臨時

「世の中に、たえて桜のなかりせば 春の心は のどけからまし」(古今和歌集)(名)

政治は変えられる

— 民主党政権で何ができたのか —

- 日時 5月13日(土) 午後2時~5時
場所 ハートピア京都 大会議室
- 講演 脱グローバル化の潮流と課題 —新しいルールを求めて—
演者 井手 英策氏(慶応大教授)
 - 証言 民主党政権時代、その前後
証言者 竹下 義樹氏(弁護士、生活保護裁判連絡会事務局長)
 - 証言 民主党政権は、何ができたのか?
証言者 福山 哲郎氏(元官房副長官・参議院議員)
 - 発言 私たちの反省—「あの時」を踏まえて、これからのこと
発言者 渡邊 賢治(京都府保険医協会副理事長)

参加費無料
要申込



医界 寸評

桜前線北上と、国をあげての大騒ぎ、平和な日本。世の中の変り目の速さを「世の中は三日見ぬ間の桜かな」と昔から言われるが、現在は何日間と言えは良いのだろうか。「明日ありと思つたの仇桜 夜半に風の吹かぬものは」親鸞聖人が9歳の時に詠まれたという 気象予報の優れた現在、夜半の嵐は予測できるが、地震や津波の被害は予測できなかった。避難した人が帰れない理由も色々あるだろうが、原発の事故に起因することがほとんどではなからうか。今村復興相の失言はやはり上から目線の他人事であった。「自己責任」と裁判でもやればよい」と言ってしまった資質に哀しくなった。桜はまた散り際がみごとなので武士にも愛された。華やかに散ることもなく何時までもしがついていける樹もある。そういえば散つた桜も色々なところに張り付いて迷惑なこともある。稲田防衛大臣も自分の能力を過信し過ぎた。人間誰しも記憶違いや物忘れはある。自分の弁護士・政治家・大臣に上つた能力を信じすぎて自分の記憶に間違いはないと言ってしまったら墓穴を掘つた。記録を確認もせず神の如く自分の能力の無謬性を信じた。こんな人に国防が務まるのだろうか。それとも今の政治家に人材適所を求める国民が三流なのか。審査のうえ、速やかに選挙公報を作成し、代議員および予備代議員に送付します。(選出内規第10条)

